

柏崎工業高等学校では、学科改編・新学習指導要領を踏まえた新しい情報教育の実践として、新潟工科大学と連携した講義体験や学習プログラムの構築などの取組を行っています。このページでは、令和3年度の主な取組を紹介します。

1 オンライン講義Ⅰ 令和3年12月22日(水) 於 本校(新潟工科大学と連携)

① 情報リテラシーに関する講義

第1部の脅威編ではスマホ決済、OSの脆弱性などについて、第2部の対策編ではパスワードの危険性や二要素認証への攻撃と対策等を学んだ。

② ICTモラルに関する講義

事例紹介を交えてソーシャルネットワーキング・サービスの迷惑行為およびマナー、ソーシャルゲームの依存症とマイクロランザクション(少額取引)の適度な使い方の理解を深めた。

③ 通信・クラウドに関する講義

急速に発展するコンピュータ業界の新しいサービス(事業形態)の実例として、クラウドソーシングやクラウドファンディング等について学んだ。また、キュレーションサイト問題を通して、インターネット上の情報の確からしさについて理解を深めた。

2 オンライン講義 令和4年3月10日(木)、15日(火)、16日(水)

於 本校(新潟工科大学と連携)

3/10 基礎教育・教養系 中村 誠 教授

3/15 電子情報学系 海老澤 賢史 准教授

3/16 電子情報学系 松田 直祐 助教

コンピュータやAIを使った翻訳のメカニズムについて学習し、機械翻訳の演習にて日本語と英文の比較から情報処理のアプローチによる翻訳の手法を学んだ。また、翻訳の確からしさをDice係数にて算出することにより、語学と数学、情報等の科目を連携した学びを体験した。



図2 オンライン講義における聴講の様子(令和4年3月10日)

また、上記の講義を踏まえ、ICT機器をもとに遠隔授業を日常的に取り組もうと、本校独自の取組として、1年生の情報技術基礎において対面+遠隔(別教室)のハイブリッド型授業を実施

した。生徒は、実際の機器を使いながら真剣に取り組んでおり、見学した教員からも、「教材によっては、iPadの画面の方が近くで見ることができるなど、実際の授業とは違う効果も期待できる。」などの意見があった。



図3 本校におけるハイブリッド授業の様子(令和4年2月24日)